

資料3-2：官民共創「第4次総合計画策定ワークショップ」意見のまとめ

	妙高市の「強み」	妙高市の「弱み」	目指すべき将来都市像	新たな政策立案に向けたアイデア（●行政と民間、▲行政、■民間）
【部会1】 移住・定住 交通・生活環境 地域づくり 克雪	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然、四季の移ろいと色どり 人が温かい、優しい人が多い、支え合い、地域住民の繋がりが深い 雪（雪質が良い）、スキー場、除雪がきれい 空き家活用、都心からのアクセスしやすい 外国人観光客が多く交流ができる ゆったりと暮らせる 食が豊か 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層向けの施設、サービス等が少ない 若年層の転出が多い 雪国の生活が大変（高齢者や移住者の除雪） 働きたいと思う場が少ない 交通が不便、車がないと生活しづらい 高等教育機関がない 	<ul style="list-style-type: none"> 心地よいまち 人と人が助け合い、支え合えるまち 市民が誇りに思うまち（郷土愛） 行ってみたいまち、帰ってきたいまち、住み続けたいまち 住んでいる人も来た人も「好き」があるまち 選べるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人向け・親子向けのお試し居住支援（お試し居住の多様な受け皿整備、▲家賃補助） ●多様な空き家活用（移住定住の受け皿、空き家+農地、市民活動の場、アーティストと連携したまちづくり）、▲空き家のリフォーム支援、空き家周辺の上下水道等インフラ整備支援、空き家の利活用意向の把握、マッチングサービス ●強みを活かした交流（山村交換留学、保育園留学、二地域居住、スポーツ教育、インバウンド、年齢・性別関係のない町内100人会議） ●人を呼び込む仕掛けづくり（スポーツ・音楽イベント、新しい名所、テーマ性のある公園） ●交通手段の確保（子どもの送迎や高齢者の足の確保、AIコバス、ライドシェア、乗合タクシー） ▲生活利便性の向上（行政手続きのオンライン化、デジタル図書館、妙高市版フリマアプリ、シェアリングサービス、配達サービス） ●雪に強い集合住宅地（コミュニティ、防災、世代間住み替え）＝妙高SDGsモデルハウス ●雪の活用（再エネ、冷房、特産品） ▲除雪体制強化（除雪体験、除雪協力隊、ジョセササイズ） ●人材（高キャリア高齢者、マッチング支援、活躍の場づくり）や地域が自由に使える財源確保 ▲多様な情報開示・発信（新規事業開発に向けた妙高市の基礎情報、移住定住希望者への分かりやすい空き家情報）
【部会2】 産業振興 デジタル活用	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源（国立公園、温泉） 東京からのアクセス 自然を楽しむコンテンツ（スキー、登山） 米、農産物、発酵食品 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の転出（若者の不足、人手不足） 人が育たない 働く先の選択肢が少ない（IT系企業がない） 沢山のまちの魅力を活かせていない マネタイズに対する執着の低さ 賑わいが足りない 施設はあるが、それを活用したソフトがない 	<ul style="list-style-type: none"> 若者が集まり、住みたいと思うまち 誰もが創造、起業しやすいまち（課題解決に寄与する内発型産業の育成） 選べる（選ばれる）まち 多様な働き方（副業など） 人手不足をIT活用して補い発展 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で経済循環する企業・産業の発見・発掘、起業・創業支援、商店街再生（ビジネスコンテスト、創業時や雇用時の支援、空き家を活用したチャレンジショップ、地域投資ファンドの設立） ▲農業の活性化（就農支援、農業機械共同化、地産地消・ブランディングの促進、冬期副業支援） ●自然や歴史の産業化・雇用創出、グリーンシーズンの観光コンテンツ充実（オーガニックの町（農・学び）、農作物の作られたストーリー（付加価値）、山菜などの食文化、農業体験（教育旅行含）、ゴルフ、アドベンチャーツーリズム、グランピング、温泉（温泉ソムリエ）、サイクルコース） ▲ワーケーションの推進（市外とのビジネスマッチング、ワーケーション拠点やコワーキングスペース、空き家活用） ▲公益性のあるビジネス創出・支援（課題解決型ビジネス、市民参加型ビジネスコンテスト） ▲DX化、デジタル環境の底上げ（行政手続き等の利便性向上、人材不足解消、スマート農業、オープンデータ化、デジタルインフラ・人材確保、デジタルリテラシー向上、情報弱者対策）
【部会3】 脱炭素 再エネ 自然環境 資源循環 防災	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然、美しい自然、四季 国立公園・ビジターセンター i-nac 豊富な観光資源 ゆったり暮らせる 人、支え合い 災害、事故が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 自然情報の蓄積、発信の仕組みがない 自然を活かしきれしていない 受け皿が整っていない 農業だけでは生業になりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 自然との共生 自然教育の聖地 自然を活用して稼ぐ（ブランディング） SDGsのモデル都市 雪を活かす 自給自足できるまち 妙高で生まれ、妙高で育ち、妙高でおわる 	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素で共生できるスマートタウン、ありとあらゆるSDGs体験ができるまち「妙高モデル」（ZEH、EV、自転車、自然エネルギー、自給自足、公共施設完全ZEB化、ZEC・ZET）⇒ブランディング ▲行政主体でスマートタウンのモデルづくり（スマートビレッジ妙高、投資の集中） ●妙高でしかできない自然体験・教育（子ども（森の幼稚園や小学校授業）～大人まで（初めてのキャンプ体験等）、今あるものを有効に、i-nacによるプロのガイド教育）⇒シビックプライド醸成 ●妙高の強み（世界一の自然環境）の情報収集・数値化・情報発信、他地域との差別化・ブランディング（自然、生態系情報の数値化、専門機関誘致、モンベル等民間企業との連携、SNS活用） ●森の健全化（ナラ枯れ、林業） ●人材育成・マッチング（観光、環境ガイド） ▲防災対策の充実（民間連携の防災備蓄、避難所の機能強化）
【部会4】 教育 子育て 健康・福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達がのびのび育つ 母子・障がい児への支援体制の充実 地域での助け合い スポーツ・文化が魅力的 	<ul style="list-style-type: none"> 進学先や職業選択の幅が狭い 医療機関が限定的 車がないと不便 文化施設・公園等が少ない 文化・スポーツの活用不足 高齢者の雪国の生活が大変 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が希望を持てる 若者が来たい、残りたいと思う街 地域の特色を活かした教育 人と人が助けあえる 地域資源を最大限に活用 郷土愛 他ではできない子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの可能性を広げる多様な活動、交流の促進（部活動の地域移行・多様化、生涯スポーツの促進、プロスポーツ選手や外国人との交流体験、職場体験、芸術文化体験（美術館・ギャラリー）） ●妙高ならではの自然を活かした教育体験プログラムの提供（特別な体験を通じた地元愛の醸成） ▲子育て環境・サービスの充実（高度医療に対する支援、患児のためのネット授業、子育て支援や施設マップの情報発信、産後ケア施設の整備（＝事業・雇用創出）、オムツ給付） ●出会い・交流・マッチングの場づくり（子どもから高齢者まで誰でも相談できる場所、婚活支援、オンライン・オフライン両面） ●高齢者の見守り、サポート体制の充実（健康・生きがいづくり、除雪支援、特殊詐欺防止） ●子育て相談・支援体制の充実、家庭以外の子どもの居場所づくり（子ども食堂×市の相談窓口） ▲各種支援情報の一元化・ワンストップ化 ▲人材確保（コーチ・マネジメント、コーディネーター、続けてもらえる仕組みづくり（待遇改善））